

財政金融研究所の活動状況（平成8年1月～平成8年2月）

1. 内外研究交流の推進

国際コンファレンス「21世紀の経済・社会システム—日米欧の比較を軸に今後を考える—」

平成8年2月16日

○オープニング・セッション（9：15～9：45）

開会挨拶：尾崎 護（国民金融公庫総裁）

研究会報告書概要報告：加藤 秀樹（財政金融研究所研究部長）

○第1セッション（9：45～12：15）

「企業の概念と企業行動」

(1) 企業概念とその背景

(2) 企業行動（経営目標利害関係者、雇用と配当等）

(3) 要約

議長 香西 泰（日本経済研究センター理事長）

報告者 マーガレット・ブレアー（ブルッキングス研究所主任研究員）

チャールズ・セイベル（コロンビア大学法学部教授）

討論者 伊丹 敬之（一橋大学商学部長）

深尾 光洋（日本銀行調査統計局企画調査課長）

○第2セッション（13：15～15：30）

「雇用の現状と今後の展開」

(1) 雇用形態の現状とその背景

(2) 雇用形態の変容が社会に与える影響

(3) 要約

議長 猪木 武徳（大阪大学経済学部長）

報告者 ロナルド・ドーア（ロンドン大学経済パフォーマンス研究所研究員）

討論者 小池 和男（法政大学経営学部教授）

八代 尚宏（上智大学国際関係研究所教授）

○第3セッション（15：45～18：15）

「企業と社会の発展」

(1) 企業と社会

(2) 経営者の社会的役割

(3) 要約（全体要約も兼ねて）

議長 伊丹 敬之（一橋大学商学部長）

報告者 ミシェル・アルベール（フランス銀行金融政策理事会理事）

討論者 水谷 三公（東京都立大学法学部教授）

榊原 英資（大蔵省国際金融局長）

2. 研究会の開催

当研究所では、ワークショップ、ミニコンファレンス等の形式で、行政担当者、大学や民間の研究者、学識経験者などが会合し、中長期的な視野から自由な意見交換を行っている。最近の開催状況は以下の通り。

(1) 21世紀の世界とアジアに関する研究会

座長 石井 米雄（上智大学アジア文化研究所教授）

平成8年1月16日 第4回

報告者 渡辺 利夫（東京工業大学教授）

討論者 逸見 謙三（東洋英和女学院大学教授）

鷲田 豊明（和歌山大学教授）

テーマ 「アジア・太平洋地域の経済（人口、環境、食糧、エネルギー問題を含む）」

平成8年2月13日 第5回

報告者 山折 哲雄（国際日本文化研究センター教授）

小谷 汪之（東京都立大学教授）

テーマ 「宗教の視点からみたアジア」

「21世紀のアジアにおけるインドとその周辺」

(2) 米国経済の構造変化とその背景に関する研究会

座長 本間 長世（成城学園学園長）

平成8年2月7日 第3回

報告者 林 紘一郎（日本電信電話㈱マルチメディア推進本部本部長補佐）

テーマ 「米国のハイテク／メディア関連産業の動向」

報告者 守島 基博（慶應義塾大学助教授）

テーマ 「80年代初期以降の米国の雇用・社会・企業行動」

以上